

令和 4 年 6 月 9 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H01690

研究課題名(和文)社会脳を創発するソーシャル・インタラクション：二つの脳の融合に向けて

研究課題名(英文) Social Interaction to Emerge the Social Brain: Toward the Fusion of Two Brains
Study of social brain using hyperscanning

研究代表者

芋阪 直行 (Osaka, Naoyuki)

京都大学・文学研究科・名誉教授

研究者番号：20113136

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 33,200,000円

研究成果の概要(和文)：社会脳(social brain)の動作メカニズムを前頭・頭頂・側頭葉などと、そのネットワークの働きから解明し、健全で豊かな社会脳の働きとその適応障害の仕組みを探求した。複数の被験者が協調して課題を達成する際の社会脳のダイナミックな相互作用を観察できる革新的なハイパースキャニング(hyperscanning)法などを導入し、「複数の脳がひとつの心」になる過程を機能的近赤外分光法(fNIRS)等を中心に検討した。同時に、機能的磁気共鳴画像法(fMRI)などの脳イメージング法によって適応不全をもつ社会性疾患の患者を社会脳ネットワークの機能不全から検討し、適応障害の予防や改善の方法を検討した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

自己や他者と社会を結ぶのが「社会脳」である。社会適応を育む健全で豊かな社会性は社会脳の働きとその仕組みを検討することで可能となる。社会脳と呼ばれる新たな学問は、心理学をはじめとする人文社会科学との協働が必須であるため研究が遅れている。社会脳は、他者と協調する過程を通して豊かな社会性を生み出す心の働きをもつ。古代ギリシャの哲学者ソクラテスは自己自身を知れと述べ、またアリストテレスは、人間を社会的動物であると述べている。社会的相互作用を通して、自己を知り他者を理解すること、あるいは健常者と社会適応不全の人々の心の比較を通して協調する心の脳内基盤を検討することは大きな社会的、学術的意義をもっている。

研究成果の概要(英文)：We have elucidated the operating mechanisms of the social brain, including the frontal, parietal, and temporal lobes, and their networks, and explored the healthy and rich functioning of the social brain and the mechanisms of its adaptive disorders. For this purpose, we introduced the innovative hyperscanning (hyperscanning) method, which enables us to observe the dynamic interaction of the social brain when multiple subjects cooperate to accomplish a task, and examined the process of "multiple brains becoming one mind," mainly using functional near-infrared spectroscopy (fNIRS). At the same time, we examined social disorders such as schizophrenia from the perspective of dysfunctional social brain networks using brain imaging methods such as functional magnetic resonance imaging (fMRI), and investigated ways to prevent and improve adjustment disorders.

研究分野：実験心理学

キーワード：社会脳 ハイパースキャニング 複数脳の協調的融合 機能的近赤外分光法(fNIRS) 機能的磁気共鳴画像法(fMRI)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

脳というわずか 1.5 リットルの小宇宙は 1000 億の膨大な神経細胞 (ニューロン) が広域のネットワークを形成し、ヒトに固有な認知的あるいは社会的意識を形成し、適応的な行動を生みだしている。動物を用いた脳の研究は著しく進展したが、社会適応、文化、道徳や宗教などを担うヒトの「社会脳 (social brain: 以下 SB と略)」の研究は、人文社会科学との協働が必須であるため研究が大幅に遅れている。社会は自己と他者が協調することで進化発展し、豊かな社会性を育んできた。社会が複雑になるにつれて社会性を育む脳の前頭葉の体積が増加してきたと考えられる (社会脳仮説)。

SB は、豊かな社会性を生み出す重要な働きをもつ。古代ギリシャの哲学者、ソクラテスは自己自身を知れと述べ、またアリストテレスは、人間を社会的動物であると述べている。自己を知り他者を理解することで、自己と社会を結ぶのが SB である。自己を知る脳や他者を理解する脳の働きは、前頭葉の内側、外側面や、注意の維持とかかわる頭頂葉の働きと協調して、社会脳ネットワークを形作っていることが最近のヒトの脳の広域脳ネットワークの先端研究で明らかになってきた。SB の探求には、新しい人文社会科学、先端脳科学や情報学等が融合した融合社会脳科学が必要とされている。すでに、日本学術会議でも提言「融合社会脳研究の創生と展開」(平成 29 年) が発出され、この新たな学問分野の開拓の重要性が指摘されている。

目的の達成行動には意識的な注意の実行系が関与するワーキングメモリネットワーク (WMN) が働くが、目的がなく脳が休んでいる時にも無意識で活動するデフォルトモードネットワーク (DMN) などが見出されている。何もしていない時も脳は活動を停止しているのではなく、他者や自己さらに社会をめぐる様々な想像を思いめぐらせ、活発に働いていることが resting-state 状態の脳活動の計測から明らかになっている。WMN が前頭葉皮質の外側面と頭頂葉の連携で作動しているのに対して、DMN は反対に前頭葉皮質の内側面を中心に作動していることもわかってきた。大まかな捉え方をすれば、WMN と DMN がいわば外的適応と内的適応を担っていると推定される。つまり、自他の認識やそのメタ認識は DMN を中心とした社会脳ネットワークが関わっていると考えられることができる。

2. 研究の目的

(1) このような研究の進展を背景として、まず、SB の研究をさらに、二人の被験者が合唱 (WMN の働きを含む) などの協調活動を通してソーシャル・インタラクション (社会的相互作用) させた場合の脳活動を検討した。人々は社会環境の変化に適応して生き残るため協力してきたが、協力を導く共感意識の形成過程とその脳内機構は未解明である。ヒトはなぜ協力するのか? その理由は、志向性の共有、つまり自他間で一つの目的の達成に向けて、意図を共有し心を接続し合うことにあると考えられる。例えば、古代から祭祀における踊りや共に歌うことは人々に身体的共感や音声的同調のリズムの共有を生み、複数の人々に共感や協調、そして社会性の心を育んだと考えられる。協調行動下での二人の脳活動の時間的同期がどの様に脳内で調整されているかという問題である。自他が新たな協調的適応行動に向けて動きはじめると、互いの

心を創発的に協調させ、支え合い、さらには豊かな社会性を育む脳の働きにも展開してゆくと推定される。このような研究のアプローチには、体を動かしても脳活動が非侵襲的に測定できる脳イメージング法として機能的近赤外分光法(fNIRS)が向いている。二名の実験参加者を対象としたfNIRSによる同時的ハイパースキャニングがこの目的に最適であると考えられる。

(2)以上のような二人のインタラクションを介したダイナミックな協調行動の検討と並行して、特定の課題負荷のもとで単独の個人及び社会的適応不全者が示す脳活動の観察もSB研究に資することは明らかである。単独の健常者や適応不全者の社会脳活動を比較検討し、豊かな社会性を導くSBの活動を阻む社会的適応不全の脳内メカニズムも同時に検討される必要がある。

研究開始当初の背景には、スマート社会(Society5.0)、つまり現代の高度情報化社会における自己と他者、あるいは社会の間に生じているストレスを生み出す社会問題がある。現実社会と仮想社会の融合がもたらすストレスもこれに含まれよう。一般的には、社会的適応不全の例として、いじめ、引きこもり、依存症(プロセス依存症を中心とするスマホやゲーム依存症)があり、さらに、統合失調症、自閉スペクトラム症、軽度認知症を含む適応不全の予防や改善の方法を探ることも健全なSBの回復(レジリエンス)の手立てとして重要である。

3. 研究の方法

(1) 目的(1)では、二人の被験者が協力して行うソーシャル・インタラクションをさせる方法として独自に工夫した研究技法であるハイパースキャニングを用いた。この方法では、共通の目標を追求する手立てとしてソーシャル・インタラクションを取り入れ、その間の相互の脳の活動をfNIRSを用いて検討した。これによって協力・協調行動における相互の脳のダイナミックな活動をリアルタイムで計測することが可能となる。この方法によって、自己と他者間の複数の脳が協調行動を通して次第に時間的に同期し協調のリズムが形成されてゆく様相が観察できると思われる。

(2) 目的(2)では、単独の健常者及び社会適応不全者を対象にSBと関わる様々な課題のもとでの脳活動を観察した。ここでは、機能的磁気共鳴画像法(fMRI)、経頭蓋直流刺激法(tDCS)、脳波などの脳イメージング法によって社会性を担う脳内ネットワークを解明することを目指した。

4. 研究成果

(1) 研究方法(1)で述べたように、二名の実験参加者を対象としたfNIRSによる同時的ハイパースキャニングによって、合唱などの協調課題を行う際の脳の同期的活動を観察した。その結果、脳活動のウェーブレット・コヒーレンス相関法(WTC)による時系列と脳の領域ごとの血流に反映された脳活動の解析により、同期的活動には前頭葉下部領域がかかわることなどが判明した。

(2) 研究方法(2)で述べた様々なイメージング技法を用いて、単独の健常者及び社会適応不全者を対象にSBと関わる様々な課題のもとでの脳活動を観察しfMRI等による検討では、自己意識とかかわる自己参照課題ではDMNの一部を形成する内側前頭前野の活動が認められSBとDMNの関りが示唆された。脳の灰白質の体積が社会適応不全と関わること、前頭葉内側面が自己認識や顔の記憶と関わること、ギャンブルにおけるSBの

役割がリスク評価や報酬系と関わること、パーキンソン症が側頭・頭頂接合領域の働きと関連することなどが明らかとなった。統合失調症では注意や意思決定の過程で SB が一定の役割をもつこと、また、灰白質体積の減少にも文化差による影響があること、対人恐怖症や社会不安症などの患者が認知的共感の減少を示すことが fMRI を用いた研究で示された。自己と他者が SB 内でどのように脳内表現されているかについても考察された。以上のほかにも、自閉スペクトラム症、軽度認知症などの社会適応不全の予防や改善の方法が示唆された。

以上から、SB は自己と社会を結び、豊かな社会性を生み出す重要な働きをもつことが明らかになった。分野融合を踏まえた融合社会脳の基礎研究とその展開研究を通して、健全な社会性の回復が可能となり、生き生きとした協調的で創造的な社会を創生するためにも SB の基礎的及び展開研究が必要とされていることが分かった。詳細は発表された論文、学会発表及び図書を参照されたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計125件（うち査読付論文 109件 / うち国際共著 8件 / うちオープンアクセス 37件）

1. 著者名 Osaka, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 An emotional neuroaesthetics of color experience.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psych Journal	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	4. 巻 12
2. 論文標題 Does implicit self-reference effect occur by the instantaneous own-name?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology, section Cognitive Science	6. 最初と最後の頁 709601 ,1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2021.709601	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪満里子・芋阪直行	4. 巻 94
2. 論文標題 Default mode networkとワーキングメモリネットワーク	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経内科	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.	4. 巻 11
2. 論文標題 Capacity differences in working memory based on resting state brain networks	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Report	6. 最初と最後の頁 19502, 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-021-98848-2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsubomi Hiroyuki, Saito Satoru, Osaka Mariko, Osaka Naoyuki	4. 巻 90
2. 論文標題 Does working memory training enhance intelligence?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Japanese journal of psychology	6. 最初と最後の頁 308 ~ 326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4992/jjpsy.90.18402	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 塩川史崇・上田竜平・蘆田宏	4. 巻 118
2. 論文標題 競合する同性の外見的魅力に基づく異性へのアプローチの調整 ~ マッチングアプリの場面での検討 ~	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 信学技報	6. 最初と最後の頁 105~109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Zhang Zhilin, Guo Guoxin, Zhang Jian, Li Chunlin, Huang Qiang, Go Ritsu, Fukuyama Hidenao, Funahashi Shintaro, Yan Tianyi, Wu Jinglong	4. 巻 143
2. 論文標題 Do theta oscillations explain the somatosensory change detection mechanism?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biological Psychology	6. 最初と最後の頁 103 ~ 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.biopsycho.2019.02.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Takashi, Oishi Naoya, Fukuyama Hidenao	4. 巻 24
2. 論文標題 Simultaneous infrared thermal imaging and laser speckle imaging of brain temperature and cerebral blood flow in rats	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Biomedical Optics	6. 最初と最後の頁 1 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1117/1.JBO.24.3.031014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishida Sei, Aso Toshihiko, Takaya Shigetoshi, Takahashi Yuki, Kikuchi Takayuki, Funaki Takeshi, Yoshida Kazumichi, Okada Tomohisa, Kunieda Takeharu, Togashi Kaori, Fukuyama Hidenao, Miyamoto Susumu	4. 巻 85
2. 論文標題 Resting-state Functional Magnetic Resonance Imaging Identifies Cerebrovascular Reactivity Impairment in Patients With Arterial Occlusive Diseases: A Pilot Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 680 ~ 688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/neuros/nyy434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ubukata Shiho, Oishi Naoya, Sugihara Genichi, Aso Toshihiko, Fukuyama Hidenao, Murai Toshiya, Ueda Keita	4. 巻 36
2. 論文標題 Transcallosal Fiber Disruption and its Relationship with Corresponding Gray Matter Alteration in Patients with Diffuse Axonal Injury	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Neurotrauma	6. 最初と最後の頁 1106 ~ 1114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/neu.2018.5823	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakaoko Yuriko, Oishi Naoya, Hase Yoshiki, Hase Mai, Saito Satoshi, Mitsueda Takahiro, Matsui Masaru, Toyoda Kazunori, Nagatsuka Kazuyuki, Kalaria Raj N., Fukuyama Hidenao, Ihara Masafumi, Takahashi Ryosuke	4. 巻 174
2. 論文標題 Montreal Cognitive Assessment score correlates with regional cerebral blood flow in post-stroke patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurology and Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 68 ~ 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2018.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yu Yinghua, Yang Jiajia, Ejima Yoshimichi, Fukuyama Hidenao, Wu Jinglong	4. 巻 11
2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishibashi Ryo, Mima Tatsuya, Fukuyama Hidenao, Pobric Gorana	4. 巻 11
2. 論文標題 Facilitation of Function and Manipulation Knowledge of Tools Using Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Integrative Neuroscience	6. 最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2017.00037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Hironobu, Yoshimura Sayaka, Kobayashi Kei, Ueno Tsukasa, Oishi Naoya, Murai Toshiya	4. 巻 12
2. 論文標題 Neural Correlates of Non-clinical Internet Use in the Motivation Network and Its Modulation by Subclinical Autistic Traits	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 493
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2018.00493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Tsukasa, Oishi Naoya, Murai Toshiya	4. 巻 8
2. 論文標題 Sex-specific regional grey matter volume correlates of daily activities	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-28252-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉村貴子・芋阪満里子	4. 巻 246
2. 論文標題 Working memoryとその評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Monthly Book Medical Rehabilitation	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lin Yu Ying, Holmqvist Kenneth, Miyoshi Kiyofumi, Ashida Hiroshi	4. 巻 45
2. 論文標題 Effects of detailed illustrations on science learning: an eye-tracking study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Instructional Science	6. 最初と最後の頁 557 ~ 581
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11251-017-9417-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueda Ryuhei, Yanagisawa Kuniaki, Ashida Hiroshi, Abe Nobuhito	4. 巻 236
2. 論文標題 Executive control and faithfulness: only long-term romantic relationships require prefrontal control	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Experimental Brain Research	6. 最初と最後の頁 821 ~ 828
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00221-018-5181-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoneda Mei, Ueda Ryuhei, Ashida Hiroshi, Abe Nobuhito	4. 巻 28
2. 論文標題 Automatic honesty forgoing reward acquisition and punishment avoidance	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 NeuroReport	6. 最初と最後の頁 879 ~ 883
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNR.0000000000000848	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yu Yinghua, Yang Jiajia, Ejima Yoshimichi, Fukuyama Hidenao, Wu Jinglong	4. 巻 11
2. 論文標題 Asymmetric Functional Connectivity of the Contra- and Ipsilateral Secondary Somatosensory Cortex during Tactile Object Recognition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2017.00662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishibashi Ryo, Mima Tatsuya, Fukuyama Hidenao, Pobric Gorana	4. 巻 11
2. 論文標題 Facilitation of Function and Manipulation Knowledge of Tools Using Transcranial Direct Current Stimulation (tDCS)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Integrative Neuroscience	6. 最初と最後の頁 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnint.2017.00037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Satow Takeshi, Aso Toshihiko, Nishida Sei, Komuro Taro, Ueno Tsukasa, Oishi Naoya, Nakagami Yukako, Odagiri Masashi, Kikuchi Takayuki, Yoshida Kazumichi, Ueda Keita, Kunieda Takeharu, Murai Toshiya, Miyamoto Susumu, Fukuyama Hidenao	4. 巻 9
2. 論文標題 Alteration of Venous Drainage Route in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus and Normal Aging	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2017.00387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takaya Shigetoshi, Sawamoto Nobukatsu, Okada Tomohisa, Okubo Gosuke, Nishida Sei, Togashi Kaori, Fukuyama Hidenao, Takahashi Ryosuke	4. 巻 47
2. 論文標題 Differential diagnosis of parkinsonian syndromes using dopamine transporter and perfusion SPECT	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Parkinsonism & Related Disorders	6. 最初と最後の頁 15 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2017.11.333	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Altmann Christian F., Ueda Ryuhei, Bucher Benoit, Furukawa Shigeto, Ono Kentaro, Kashino Makio, Mima Tatsuya, Fukuyama Hidenao	4. 巻 159
2. 論文標題 Trading of dynamic interaural time and level difference cues and its effect on the auditory motion-onset response measured with electroencephalography	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 NeuroImage	6. 最初と最後の頁 185 ~ 194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2017.07.055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Katsuya, Matsumoto Riki, Matsuhashi Masao, Usami Kiyohide, Shimotake Akihiro, Kunieda Takeharu, Kikuchi Takayuki, Yoshida Kazumichi, Mikuni Nobuhiro, Miyamoto Susumu, Fukuyama Hidenao, Takahashi Ryosuke, Ikeda Akio	4. 巻 128
2. 論文標題 High frequency activity overriding cortico-cortical evoked potentials reflects altered excitability in the human epileptic focus	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1673 ~ 1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.06.249	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Altmann Christian F., Ueda Ryuhei, Furukawa Shigeto, Kashino Makio, Mima Tatsuya, Fukuyama Hidenao	4. 巻 11
2. 論文標題 Auditory Mismatch Negativity in Response to Changes of Counter-Balanced Interaural Time and Level Differences	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 387
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aso Toshihiko, Jiang Guanhua, Urayama Shin-ichi, Fukuyama Hidenao	4. 巻 11
2. 論文標題 A Resilient, Non-neuronal Source of the Spatiotemporal Lag Structure Detected by BOLD Signal-Based Blood Flow Tracking	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 256
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamawaki Rie, Nakamura Kimihiro, Aso Toshihiko, Shigemune Yayoi, Fukuyama Hidenao, Tsukiura Takashi	4. 巻 38
2. 論文標題 Remembering my friends: Medial prefrontal and hippocampal contributions to the self-reference effect on face memories in a social context	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 4256 ~ 4269
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23662	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata Sumiya, Matsuhashi Masao, Kunieda Takeharu, Yamao Yukihiro, Inano Rika, Kikuchi Takayuki, Imamura Hisaji, Takaya Shigetoshi, Matsumoto Riki, Ikeda Akio, Takahashi Ryosuke, Mima Tatsuya, Fukuyama Hidenao, Mikuni Nobuhiro, Miyamoto Susumu	4. 巻 128
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 734 ~ 743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Yukihiro, Suzuki Kengo, Kunieda Takeharu, Matsumoto Riki, Arakawa Yoshiki, Nakae Takuro, Nishida Sei, Inano Rika, Shibata Sumiya, Shimotake Akihiro, Kikuchi Takayuki, Sawamoto Nobukatsu, Mikuni Nobuhiro, Ikeda Akio, Fukuyama Hidenao, Miyamoto Susumu	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 1977 ~ 1991
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi Hideaki, Tsurumi Kosuke, Murao Takuro, Takemura Ariyoshi, Kawada Ryosaku, Urayama Shin-ichi, Aso Toshihiko, Sugihara Gen-ichi, Miyata Jun, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 69
2. 論文標題 Common and differential brain abnormalities in gambling disorder subtypes based on risk attitude	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Addictive Behaviors	6. 最初と最後の頁 48 ~ 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.addbeh.2017.01.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujimoto A, Tsurumi K, Kawada R, Murao T, Takeuchi H, Murai T, Takahashi H	4. 巻 7
2. 論文標題 Deficit of state-dependent risk attitude modulation in gambling disorder	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Translational Psychiatry	6. 最初と最後の頁 e1085 ~ e1085
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/tp.2017.55	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Terada Tatsuhiro, Miyata Jun, Obi Tomokazu, Kubota Manabu, Yoshizumi Miho, Yamazaki Kinya, Mizoguchi Kouichi, Murai Toshiya	4. 巻 7
2. 論文標題 Frontal assessment battery and frontal atrophy in amyotrophic lateral sclerosis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e00707 ~ e00707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.707	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murao Ema, Sugihara Genichi, Isobe Masanori, Noda Tomomi, Kawabata Michiko, Matsukawa Noriko, Takahashi Hidehiko, Murai Toshiya, Noma Shun'ichi	4. 巻 71
2. 論文標題 Differences in neural responses to reward and punishment processing between anorexia nervosa subtypes: An fMRI study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 647 ~ 658
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12537	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tei Shisei, Fujino Junya, Kawada Ryosaku, Jankowski Kathryn F., Kauppi Jukka-Pekka, van den Bos Wouter, Abe Nobuhito, Sugihara Genichi, Miyata Jun, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Collaborative roles of Temporoparietal Junction and Dorsolateral Prefrontal Cortex in Different Types of Behavioural Flexibility	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6415
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-06662-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Saito Naho, Takahata Keisuke, Yamakado Hodaka, Sawamoto Nobukatsu, Saito Satoshi, Takahashi Ryosuke, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 7
2. 論文標題 Altered awareness of action in Parkinson's disease: evaluations by explicit and implicit measures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8019
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-08482-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto Yukiko, Takahashi Hideyuki, Miyata Jun, Sugihara Genichi, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Neural basis of altered earlier attention and higher order biological motion processing in schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Social Neuroscience	6. 最初と最後の頁 594 ~ 601
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17470919.2017.1366363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono Miki, Kochiyama Takanori, Fujino Junya, Sozu Takashi, Kawada Ryosaku, Yokoyama Naoto, Sugihara Genichi, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 23
2. 論文標題 Self-efficacy modulates the neural correlates of craving in male smokers and ex-smokers: an fMRI study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Addiction Biology	6. 最初と最後の頁 1179 ~ 1188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/adb.12555	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki Masahiro, Kitajo Keiichi, Fukao Kenjiro, Murai Toshiya, Yamaguchi Yoko, Funabiki Yasuko	4. 巻 7
2. 論文標題 Frontal theta activation during motor synchronization in autism	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15034
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-017-14508-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujino Junya, Tei Shisei, Jankowski Kathryn F., Kawada Ryosaku, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 367
2. 論文標題 Role of Spontaneous Brain Activity in Explicit and Implicit Aspects of Cognitive Flexibility under Socially Conflicting Situations: A Resting-state fMRI Study using Fractional Amplitude of Low-frequency Fluctuations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroscience	6. 最初と最後の頁 60 ~ 71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroscience.2017.10.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Funahashi Shintaro	4. 巻 7
2. 論文標題 Working Memory in the Prefrontal Cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain Sciences	6. 最初と最後の頁 49 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/brainsci7050049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Funahashi Shintaro	4. 巻 11
2. 論文標題 Prefrontal Contribution to Decision-Making under Free-Choice Conditions	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 431 ~ 431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2017.00431	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Spaak Eelke, Watanabe Kei, Funahashi Shintaro, Stokes Mark G.	4. 巻 37
2. 論文標題 Stable and Dynamic Coding for Working Memory in Primate Prefrontal Cortex	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 6503 ~ 6516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.3364-16.2017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Watanabe Kei, Funahashi Shintaro	4. 巻 84
2. 論文標題 Toward an understanding of the neural mechanisms underlying dual-task performance: Contribution of comparative approaches using animal models	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neuroscience & Biobehavioral Reviews	6. 最初と最後の頁 12 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neubiorev.2017.08.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 OSAKA Naoyuki	4. 巻 73
2. 論文標題 Self and Others Represented in the Social Brain	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transactions of the Japan Academy	6. 最初と最後の頁 57～81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2183/tja.73.2_57	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 芋阪満里子	4. 巻 37
2. 論文標題 Working memory networkとdefault mode network	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 178-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪直行	4. 巻 70
2. 論文標題 意識を創発するワーキングメモリ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本学士院紀要	6. 最初と最後の頁 135-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujino Junya, Hirose Kimito, Tei Shisei, Kawada Ryosaku, Tsurumi Kosuke, Matsukawa Noriko, Miyata Jun, Sugihara Genichi, Yoshihara Yujiro, Ideno Takashi, Aso Toshihiko, Takemura Kazuhisa, Fukuyama Hidenao, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 178
2. 論文標題 Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 94～101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2016.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪 直行	4. 巻 35
2. 論文標題 社会脳からみた意識の仕組み	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 基礎心理学研究	6. 最初と最後の頁 14 ~ 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14947/psychono.35.4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪直行	4. 巻 34
2. 論文標題 歩くと月がついてくるのはなぜですか？	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 841
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minamoto Takehiro, Tsubomi Hiroyuki, Osaka Naoyuki	4. 巻 26
2. 論文標題 Neural Mechanisms of Individual Differences in Working Memory Capacity: Observations From Functional Neuroimaging Studies	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Current Directions in Psychological Science	6. 最初と最後の頁 335 ~ 345
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/0963721417698800	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aso Toshihiko, Nishimura Kazuo, Kiyonaka Takashi, Aoki Takaaki, Inagawa Michiyo, Matsuhashi Masao, Tobinaga Yoshikazu, Fukuyama Hidenao	4. 巻 6
2. 論文標題 Dynamic interactions of the cortical networks during thought suppression	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Behavior	6. 最初と最後の頁 e00503 ~ e00503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/brb3.503	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishii Toru, Sawamoto Nobukatsu, Tabu Hayato, Kawashima Hidekazu, Okada Tomohisa, Togashi Kaori, Takahashi Ryosuke, Fukuyama Hidenao	4. 巻 263
2. 論文標題 Altered striatal circuits underlie characteristic personality traits in Parkinson's disease	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neurology	6. 最初と最後の頁 1828 ~ 1839
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00415-016-8206-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ota Kenichi, Oishi Naoya, Ito Kengo, Fukuyama Hidenao, and SEAD-J Study Group, for the Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative	4. 巻 52
2. 論文標題 Prediction of Alzheimer's Disease in Amnesic Mild Cognitive Impairment Subtypes: Stratification Based on Imaging Biomarkers	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimer's Disease	6. 最初と最後の頁 1385 ~ 1401
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-160145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Tomohiro, Suzuki Hirokazu, Hiraishi Masahiro, Amano Hideaki, Fukuyama Hidenao, Sugimoto Naozo	4. 巻 6
2. 論文標題 In vivo Magnetic Resonance Microscopy and Hypothermic Anaesthesia of a Disease Model in Medaka	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 27188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep27188	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Votinov Mikhail, Aso Toshihiko, Fukuyama Hidenao, Mima Tatsuya	4. 巻 10
2. 論文標題 A Neural Mechanism of Preference Shifting Under Zero Price Condition	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2016.00177	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujino Junya, Hirose Kimito, Tei Shisei, Kawada Ryosaku, Tsurumi Kosuke, Matsukawa Noriko, Miyata Jun, Sugihara Genichi, Yoshihara Yujiro, Ideno Takashi, Aso Toshihiko, Takemura Kazuhisa, Fukuyama Hidenao, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 178
2. 論文標題 Ambiguity aversion in schizophrenia: An fMRI study of decision-making under risk and ambiguity	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 94 ~ 101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2016.09.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Son Shuraku, Miyata Jun, Mori Yasuo, Isobe Masanori, Urayama Shin-ichi, Aso Toshihiko, Fukuyama Hidenao, Murai Toshiya, Takahashi Hidehiko	4. 巻 260
2. 論文標題 Lateralization of intrinsic frontoparietal network connectivity and symptoms in schizophrenia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Psychiatry Research: Neuroimaging	6. 最初と最後の頁 23 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.psychres.2016.12.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyoshi Kiyofumi, Ashida Hiroshi	4. 巻 43
2. 論文標題 Attentional cueing induces false memory	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Consciousness and Cognition	6. 最初と最後の頁 66 ~ 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.concog.2016.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Ryuhei, Ashida Hiroshi, Yanagisawa Kuniaki, Abe Nobuhito	4. 巻 12
2. 論文標題 The neural basis of individual differences in mate poaching	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Social Neuroscience	6. 最初と最後の頁 391 ~ 399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/17470919.2016.1182065	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueda Ryuhei, Kuraguchi Kana, Ashida Hiroshi	4. 巻 6
2. 論文標題 Asymmetric Effect of Expression Intensity on Evaluations of Facial Attractiveness	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SAGE Open	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/2158244016677569	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 苧阪 満里子	4. 巻 21
2. 論文標題 ワーキングメモリとこころの発達	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 4_63 ~ 4_66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5363/tits.21.4_63	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funahashi Shintaro	4. 巻 10
2. 論文標題 Physical Features of Visual Images Affect Macaque Monkey 's Preference for These Images	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Behavioral Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnbeh.2016.00212	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mochizuki, Y., Onaga, T., Shimazaki, H., Shimokawa, T., Tsubo, Y., ... Funahashi, S., ..., Richmond, B.J., and Shinomoto, S.	4. 巻 36
2. 論文標題 Similarity in Neuronal Firing Regimes across Mammalian Species	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 5736 ~ 5747
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1523/JNEUROSCI.0230-16.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ichihara-Takeda Satoe, Takeda Kazuyoshi, Ikeda Nozomu, Matsuyama Kiyoji, Funahashi Shintaro	4. 巻 7
2. 論文標題 Neuropsychological Assessment of a New Computerized Cognitive Task that Was Developed to Train Several Cognitive Functions Simultaneously	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2016.00497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mochizuki Kei, Funahashi Shintaro	4. 巻 115
2. 論文標題 Prefrontal spatial working memory network predicts animal's decision making in a free choice saccade task	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 127 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1152/jn.00255.2015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kang Hongling, Nakae Aya, Ito Hiroshi, Vitayaburananont Piyasak, Minamoto Takehiro, Ikeda Takashi, Osaka Mariko, Mashimo Takashi, Fujino Yuji, Hagihira Satoshi	4. 巻 12
2. 論文標題 Effects of sedation on subjective perception of pain intensity and autonomic nervous responses to pain: A preliminary study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0183635
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0183635	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 芦阪直行・矢追健	4. 巻 34
2. 論文標題 実験心理学からみた機能的磁気共鳴画像法 (fMRI) による脳画像解析	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 基礎心理学研究	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宇阪直行	4. 巻 26
2. 論文標題 ワーキングメモリとコグニティブエージング	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 老年精神医学雑誌	6. 最初と最後の頁 1039-1046
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Minamoto, T., Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	4. 巻 71
2. 論文標題 The rostral prefrontal cortex underlies individual differences in working memory capacity: An approach from the hierarchical model of the cognitive control.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 277-290
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2015.07.025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda, T., Matsuyoshi, D., Sawamoto, N., Fukuyama, H., & Osaka, N.	4. 巻 9
2. 論文標題 Color harmony represented by activity in the medial orbitofrontal cortex and amygdala.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers of Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yaoi, K., Osaka, M., & Osaka, N.	4. 巻 9
2. 論文標題 Neural correlates of the self-reference effect: evidence from evaluation and recognition processes.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers of Human Neuroscience	6. 最初と最後の頁 383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnhum.2015.00383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Minamoto, T., Shipstead, Z., Osaka, N., & Engle, R.	4. 巻 77
2. 論文標題 Low cognitive load strengthens distractor interference while high load attenuates when cognitive load and distractor possess similar visual characteristics.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Attention, Perception, & Psychophysics	6. 最初と最後の頁 1659-1673
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3758/s13414-015-0866-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ashizuka, A., Mima, T., Sawamoto, N., Aso, T., Oishi, N., Sugihara, G., Kawada, R., Takahashi, H., Murai, T., & Fukuyama, H.	4. 巻 91
2. 論文標題 Functional relevance of the precuneus in verbal politeness.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 48-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Aso, T., & Fukuyama, H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Functional heterogeneity in the default mode network edges.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Brain Connect	6. 最初と最後の頁 203-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1089/brain.2014.0256	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujino, J., Yamasaki, N., Miyata, J., Sasaki, H., Matsukawa, N., Takemura, A., Tei, S., Sugihara, G., Aso, T., Fukuyama, H., Takahashi, H., Inoue, K., & Murai, T.	4. 巻 174
2. 論文標題 Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Affective Disorders	6. 最初と最後の頁 397-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jad.2014.12.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro, T., Matsuhashi, M., Miyazaki, T., Inouchi, M., Hitomi, T., Matsumoto, R., Takahashi, R., Fukuyama, H., & Ikeda, A.	4. 巻 126
2. 論文標題 Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 756-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro, T., Matsumoto, R., Shimotake, A., Matsuhashi, M., Inouchi, M., Urayama, S., Sawamoto, N., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	4. 巻 126
2. 論文標題 Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: converging evidence from magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 675-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiyoshi-Taniguchi, K., Oishi, N., Namiki, C., Miyata, J., Murai, T., Cichocki, A., & Fukuyama, H.	4. 巻 25
2. 論文標題 The uncinat fasciculus as a predictor of conversion from amCI to Alzheimer disease.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neuroimaging	6. 最初と最後の頁 748-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jon.12196	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Isobe, M., Miyata, J., Hazama, M., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	4. 巻 102
2. 論文標題 Multimodal neuroimaging as a window into the pathological physiology of schizophrenia: Current trends and issues.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2015.07.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ito, K., Fukuyama, H., Senda, M., Ishii, K., Maeda, K., Yamamoto, Y., Ouchi, Y., Okumura, A., Fujiwara, K., Kato, T., Arahata, Y., Washimi, Y., Mitsuyama, Y., Meguro, K., Ikeda, M.; Group S-JS	4. 巻 45
2. 論文標題 Prediction of Outcomes in Mild Cognitive Impairment by Using 18F-FDG-PET: A Multicenter Study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Alzheimers Disorders	6. 最初と最後の頁 543-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3233/JAD-141338	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, K., Matsumoto, R., Matsuhashi, M., Usami, K., Shimotake, A., Kunieda, T., Kikuchi, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	4. 巻 10
2. 論文標題 Different Mode of Afferents Determines the Frequency Range of High Frequency Activities in the Human Brain: Direct Electrocorticographic Comparison between Peripheral Nerve and Direct Cortical Stimulation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e0130461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0130461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Koganemaru, S., Sawamoto, N., Aso, T., Sagara, A., Ikkaku, T., Shimada, K., Kanematsu, M., Takahashi, R., Domen, K., Fukuyama, H., & Mima, T.	4. 巻 92
2. 論文標題 Task-specific brain reorganization in motor recovery induced by a hybrid-rehabilitation combining training with brain stimulation after stroke.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 29-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto, R., Mikuni, N., Tanaka, K., Usami, K., Fukao, K., Kunieda, T., Takahashi, Y., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	4. 巻 17
2. 論文標題 Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 89-94; quiz 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2015.0725	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, I., Koganemaru, S., Fukuyama, H., & Mima, T.	4. 巻 126
2. 論文標題 Static magnetic field can transiently alter the human intracortical inhibitory system.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2314-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.01.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nojima, I., Koganemaru, S., Kawamata, T., Fukuyama, H., & Mima, T.	4. 巻 41
2. 論文標題 Action observation with kinesthetic illusion can produce human motor plasticity.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 The European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1614-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.12921	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ono, K., Altmann, CF., Matsuhashi, M., Mima, T., & Fukuyama, H.	4. 巻 319
2. 論文標題 Neural correlates of perceptual grouping effects in the processing of sound omission by musicians and nonmusicians.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Hearing Research	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heares.2014.10.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ota, K., Oishi, N., Ito, K., Fukuyama, H.; Group S-JS, & Initiative AsDN	4. 巻 256
2. 論文標題 Effects of imaging modalities, brain atlases and feature selection on prediction of Alzheimer's disease.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods	6. 最初と最後の頁 168-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneumeth.2015.08.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Son, S., Kubota, M., Miyata, J., Fukuyama, H., Aso, T., Urayama, S., Murai, T., & Takahashi H.	4. 巻 164
2. 論文標題 Creativity and positive symptoms in schizophrenia revisited: structural connectivity analysis with diffusion tensor imaging.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Schizophrenia Research	6. 最初と最後の頁 1-3, 221-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.schres.2015.03.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tabu, H., Aso, T., Matsushashi, M., Ueki, Y., Takahashi, R., Fukuyama, H., Shibasaki, H., & Mima, T.	4. 巻 95
2. 論文標題 Parkinson's disease patients showed delayed awareness of motor intention.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 74-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2015.01.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami, K., Matsumoto, R., Kobayashi, K., Hitomi, T., Shimotake, A., Kikuchi, T., Matsushashi, M., Kunieda, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Fukuyama, H., Takahashi, R., & Ikeda, A.	4. 巻 36
2. 論文標題 Sleep modulates cortical connectivity and excitability in humans: Direct evidence from neural activity induced by single-pulse electrical stimulation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping	6. 最初と最後の頁 4714-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.22948	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao, Y., Matsumoto, R., Kunieda, T., Arakawa, Y., Kikuchi, T., Shibata, S., Shimotake, A., Fukuyama, H., Ikeda, A., & Miyamoto, S.	4. 巻 134
2. 論文標題 A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neurology and Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 126-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2015.04.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao, Y., Matsumoto, R., Kunieda, T., Shibata, S., Shimotake, A., Kikuchi, T., Satow, T., Mikuni, N., Fukuyama, H., Ikeda, A., & Miyamoto, S.	4. 巻 66
2. 論文標題 Neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 134-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2014.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto, Y., Takahashi, H., Murai, T., & Takahashi, H.	4. 巻 90
2. 論文標題 Visual processing and social cognition in schizophrenia: relationships among eye movements, biological motion perception, and empathy.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Research	6. 最初と最後の頁 95-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2014.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noma, S., Uwatoko, T., Ono, M., Miyagi, T., & Murai, T.	4. 巻 21
2. 論文標題 Differences between non-suicidal self-injury and suicidal behavior in patients with eating disorders.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Psychiatric Practice	6. 最初と最後の頁 198-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/PRA.0000000000000067	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki, M., Kitajo, K., Fukao, K., Murai, T., Yamaguchi, Y., & Funabiki, Y.	4. 巻 IV
2. 論文標題 Neural dynamics for a sudden change in other 's behavioral rhythm.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Advances in Cognitive Neurodynamics	6. 最初と最後の頁 485-489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-94-017-9548-7_69	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yassin, W., Sugihara, G., Oishi, N., Kubota, M., Ubukata, S., Murai, T., & Ueda, K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Hypothalamic - amygdalar - brainstem volume reduction in a patient with narcolepsy secondary to diffuse axonal injury.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Sleep Medicine	6. 最初と最後の頁 581-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5664/jcsm.4710	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka, Y., Fujino, J., Ideno, T., Okubo, S., Takemura, K., Miyata, J., Kawada, R., Fujimoto, S., Kubota, M., Sasamoto, A., Hirose, K., Takeuchi, H., Fukuyama, H., Murai, T., & Takahashi, H.	4. 巻 5
2. 論文標題 Are ambiguity aversion and ambiguity intolerance identical? A neuroeconomics investigation.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology, section Decision Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1550
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2014.01550	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Funabiki, Y., Mizutani, T., & Murai, T.	4. 巻 5
2. 論文標題 Fine motor skills relate to visual memory in autism spectrum disorder.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Educational and Developmental Psychology	6. 最初と最後の頁 88-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5539/jedp.v5n1p88	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Isobe, M., Tanigaki, K., Murak, K., Miyata, J., Takemura, A., Sugihara, G., Takahashi, H., Aso, T., Fukuyama, H., Hazama, M., & Murai T.	4. 巻 1
2. 論文標題 Polymorphism within a neuronal activity-dependent enhancer of NgR1 is associated with corpus callosum morphology in humans.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Molecular Neuropsychiatry	6. 最初と最後の頁 105-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000430463	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okada, T., Kubota, Y., Sato, W., Murai, T., Pellion, F., & Gorog, F.	4. 巻 6
2. 論文標題 Common impairments of emotional facial expression recognition in schizophrenia across French and Japanese cultures.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology, section Cultural Psychology	6. 最初と最後の頁 1018
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.01018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saito, N., Takahata, K., Murai, T., & Takahashi, H.	4. 巻 37
2. 論文標題 Discrepancy between explicit judgement of agency and implicit feeling of agency: implications for sense of agency and its disorders.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Consciousness and Cognition	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.concog.2015.07.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takagi, Y., Miyamoto, S; COSMO-Japan Study Group	4. 巻 55
2. 論文標題 Cognitive Dysfunction Survey of the Japanese Patients with Moyamoya Disease (COSMO-JAPAN Study): study protocol.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neurologia Medico- Chirurgica (Tokyo)	6. 最初と最後の頁 199-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.ra.2014-0326	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪満里子	4. 巻 36
2. 論文標題 ワーキングメモリとその脳内機構	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床精神病理	6. 最初と最後の頁 235-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miyoshi, K., Kimura, Y., & Ashida, H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Longer prime presentation decreases picture-word cross-domain priming	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1040
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.01040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Honma, T. C., & Ashida, H.	4. 巻 6
2. 論文標題 What makes space-time interactions in human vision asymmetrical?	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00756	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uesaki, M., & Ashida, H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Optic-flow selective cortical sensory regions associated with self-reported states of vection.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00775	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuraguchi, K., & Ashida, H.	4. 巻 6
2. 論文標題 Beauty and cuteness in peripheral vision.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 566
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.00566	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kuraguchi, K., Taniguchi, K., & Ashida, H.	4. 巻 4
2. 論文標題 The impact of baby schema on perceived attractiveness, beauty, and cuteness in female adults.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Springer Plus	6. 最初と最後の頁 164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40064-015-0940-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 船橋新太郎	4. 巻 58
2. 論文標題 実行機能と前頭連合野の関与	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 心理学評論	6. 最初と最後の頁 55-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 船橋新太郎	4. 巻 67
2. 論文標題 視覚刺激に対する嗜好性と前頭葉眼窩部の関与	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Brain and Nerve (神経研究の進歩)	6. 最初と最後の頁 711-722
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船橋新太郎	4. 巻 253
2. 論文標題 同時に2つのことをうまくできないのはなぜか	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 医学のあゆみ	6. 最初と最後の頁 659-670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊慶, 船橋新太郎	4. 巻 31
2. 論文標題 二重課題の神経生物学-二重課題干渉効果と前頭連合野の役割	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 霊長類研究	6. 最初と最後の頁 87-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7875/first.author.2014.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Li, B.-M., & Funahashi, S.	4. 巻 31
2. 論文標題 A step forward in the understanding of prefrontal cortical functions.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neuroscience Bulletin	6. 最初と最後の頁 161-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12264-015-1516-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船橋新太郎	4. 巻 32
2. 論文標題 書評 小野武年著『情動と記憶-しくみとはたらき』	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 比較生理生化学	6. 最初と最後の頁 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 船橋新太郎	4. 巻 22
2. 論文標題 巻頭言 前頭連合野研究とワーキングメモリ仮説	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日本神経回路学会誌	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, K., & Funahashi, S.	4. 巻 246
2. 論文標題 A dual-task paradigm for behavioral and neurobiological studies in nonhuman primates.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Neuroscience Methods	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jneumeth.2015.03.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Funahashi, S.	4. 巻 9
2. 論文標題 Functions of delay-period activity in the prefrontal cortex and mnemonic scotomas revisited.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Systems Neuroscience	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnsys.2015.00002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ichihara-Takeda, S., Yazawa, S., Murahara, T., Toyoshima, T., Shimozaki, J., Ishiguro, M., Shiraishi, H., Ikeda, N., Matsuyama, K., Funahashi, S., & Nagamine, T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Modulation of alpha activity in the parieto-occipital area by distractors during a visuospatial working memory task: a magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Journal of Cognitive Neuroscience	6. 最初と最後の頁 453-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/jocn_a_00718	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Watanabe, K. and Funahashi, S.	4. 巻 1
2. 論文標題 Primate model of interference control.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Current Opinion in Behavioral Sciences	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cobeha.2014.07.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ubukata, S., Ueda, K., Sugihara, G., Yassin, W., Aso, T., Fukuyama, H., & Murai, T.	4. 巻 38
2. 論文標題 Disturbance of time orientation, attention and verbal memory in amnesic patients with confabulation.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Clinical and Experimental Neuropsychology	6. 最初と最後の頁 171-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13803395.2015.1094027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ubukata, S., Ueda, K., Sugihara, G., Yassin, W., Aso, T., Fukuyama, H., & Murai, T.	4. 巻 28
2. 論文標題 Corpus callosum pathology as a potential surrogate marker of cognitive impairments in diffuse axonal injury.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences	6. 最初と最後の頁 97-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1176/appi.neuropsych.15070159	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芋阪直行	4. 巻 34
2. 論文標題 デフォルトモードネットワーク	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 668-670
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Shimada, Y., Osaka, M.	4. 巻 6
2. 論文標題 How two brains make one synchronized brain in the inferior frontal cortex.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers of Psychology	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2015.01811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Osaka, M.	4. 巻 126
2. 論文標題 Neural synchronization during cooperated humming: A hyperscanning study using fNIRS.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Procedia- Social and Behavioral Sciences	6. 最初と最後の頁 241-243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計50件 (うち招待講演 11件 / うち国際学会 19件)

1. 発表者名 塩川史崇・上田竜平・蘆田宏
2. 発表標題 同性ライバルの外見的魅力に基づく配偶者選択行動の調整
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 塩川史崇・上田竜平・蘆田宏
2. 発表標題 競合する同性の外見的魅力に基づく異性へのアプローチの調整 ~ マッチングアプリ的場面での検討 ~
3. 学会等名 電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., & Osaka, N.
2. 発表標題 Group differences of working memory capacities in the resting state
3. 学会等名 Psychonomic Society 59h Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.
2. 発表標題 Neural Correlates of Color Harmony
3. 学会等名 The 4th Asia Color Association Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坪見博之
2. 発表標題 ワーキングメモリトレーニングと流動性知能
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇阪満里子
2. 発表標題 ワーキングメモリの概念と測定化
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藏口佳奈・谷口康祐・蘆田宏
2. 発表標題 顔に向けられる視線傾向の調整要因 魅力・呈示位置・経時的変化の検討
3. 学会等名 日本視覚学会2018年冬季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tsubomi, H., Fukuda, K., & Vogel, E. K.
2. 発表標題 Protection against interference limits visual capacity to three items independent of retention interval.
3. 学会等名 Vision Science Society Annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宇阪満里子
2. 発表標題 ワーキングメモリと言語理解
3. 学会等名 補聴と聴覚活用研究会サマーフォーラム 2018 in 横浜 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.
2. 発表標題 Neural Correlates of Color Harmony
3. 学会等名 The 4th Asia Color Association Conference
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Osaka, N
2. 発表標題 Executive functions of working memory control an access consciousness: An NCC approach,
3. 学会等名 International Congress of Psychology (ICP2016) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, N.
2. 発表標題 Aesthetics of art in cognitive psychology and neuroscience(orgaziner K.Miura):
3. 学会等名 International Congress of Psychology (ICP2016) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, N. ,Ikeda, T., Osaka, M.
2. 発表標題 Neural correlates of color working memory: An fMRI study.
3. 学会等名 ECVP2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 宇阪直行
2. 発表標題 融合社会脳科学の展望 脳の中の「自己と他者
3. 学会等名 日本学術会議「自己を知る脳・他者を理解する脳 融合的アプローチによる社会脳研究の魅力」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, N.et al.
2. 発表標題 How two brains make one synchronized mind
3. 学会等名 CiNET talk
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Osaka, M
2. 発表標題 Hyperscanning study on synchronized singing between two people using fNIRS
3. 学会等名 SFN 2016 meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., Azuma, M., & Osaka, N.
2. 発表標題 Inhibitory effect of OFC during emotional complex span task of working memory: An fMRI study
3. 学会等名 Psychonomic Meeting 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福山秀直
2. 発表標題 神経変性疾患の画像診断
3. 学会等名 第8回Neuroimaging Seminar
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福山秀直
2. 発表標題 大脳皮質野の可塑性 resting state fMRIによる検討
3. 学会等名 第9回神経機能回復セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 福山秀直
2. 発表標題 認知症の早期診断～画像診断などを中心にして～
3. 学会等名 認知症サポート医・相談医フォローアップ研修
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukuyama.H
2. 発表標題 Cryogen-free 3T-MRI System for Human Brain Research using Bi 2223 High-Temperature Superconducting Taps
3. 学会等名 International Symposium on Applied Brain Science (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kuraguchi, K. & Ashida, H.
2. 発表標題 Inversion effect on facial beauty.
3. 学会等名 ICP2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ueda, R., Yanagisawa, K., Ashida, H., & Abe, N.
2. 発表標題 Why do some people engage in immoral love? : Insights from neuroimaging and implicit association test.
3. 学会等名 ICP2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Lin, Y-Y., Miyoshi, K., & Ashida, H.
2. 発表標題 The Influence of Detailed illustrations on Comprehension Monitoring and Positive Emotions.
3. 学会等名 ECVP 2016 (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 上田竜平・柳澤邦昭・蘆田宏・阿部修士.
2. 発表標題 浮気欲求への抵抗：潜在的・顕在的抑制機能の認知的説明
3. 学会等名 関西心理学会第128回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tsubomi, H.
2. 発表標題 Efficiency of selecting and excluding visual working memory representations depends on the stage of selection
3. 学会等名 31st International Congress of Psychology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 船橋新太郎
2. 発表標題 「二兎を追う者は一兎をも得ず」の神経機構を考える
3. 学会等名 第13回NBR公開シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 船橋新太郎
2. 発表標題 自由選択条件下での意思決定とワーキングメモリ
3. 学会等名 第14回日本ワーキングメモリ学会大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 柴田柚香、小川詩乃、船曳康子、正高信男、船橋新太郎
2. 発表標題 左前頭葉腫瘍を摘出した児童の行動特徴の検討
3. 学会等名 第14回日本ワーキングメモリ学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tanaka, A. and Funahashi, S.
2. 発表標題 Persistent activity of prefrontal neurons as a source of confidence in working memory.
3. 学会等名 Society for Neuroscience Meeting (Neuroscience 2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Funahashi, S.
2. 発表標題 Prefrontal neural network predicts animal 's decision in a free-choice condition.
3. 学会等名 5th Workshop on the Computational Properties of the Prefrontal Cortex. (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Mochizuki, K. and Funahashi, S
2. 発表標題 Spatial representation and spike timing characteristics in primate prefrontal neurons
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 肥後克己・岡本尚子・芋阪満里子
2. 発表標題 順序情報の保持と処理に関わる脳活動の変化
3. 学会等名 第15回日本ワーキングメモリ学会大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.
2. 発表標題 Mindfulness Zen meditation makes less cognitive conflict in the prefrontal brain under the Stroop color interference
3. 学会等名 AIC2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Osaka, N.
2. 発表標題 Hyperscanning on synchronized singing using fNIRS
3. 学会等名 International Symposium on Inter-Brain Communication (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 源健宏・宇阪満里子・宇阪直行
2. 発表標題 前部帯状回腹側部の活動から探る感情情報の注意資源特性 - 事象関連fMRIによる検討 -
3. 学会等名 第17回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.
2. 発表標題 Two brains make one Mind: Hyperscanning study on synchronized singing/humming between two people using fNIRS.
3. 学会等名 The 14th European Congress of Psychology
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 源健宏・宇阪満里子・宇阪直行
2. 発表標題 前部帯状回腹側部の活動から捉える感情情報の注意資源特性：fMRI研究
3. 学会等名 第38回日本神経科学大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Minamoto, T., Osaka, M., & Osaka, N.
2. 発表標題 Valence-general attentional resource for emotional information revealed by activation of the ventral part of the anterior cingulate cortex.
3. 学会等名 45th annual meeting of the Society for Neuroscience
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪満里子
2. 発表標題 こころの発達とワーキングメモリー
3. 学会等名 日本学術会議 「脳とこころ」・「神経科学」・「脳と意識」分科会合同市民公開シンポジウム「求められる「脳とこころの科学」～教育・医療・モノづくり～」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda, T., & Osaka, N.
2. 発表標題 Neural basis of color harmony and disharmony.
3. 学会等名 Association Internationale de la Couleur (AIC) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 視覚芸術の神経美学
3. 学会等名 社会・技術の変容とアートの役割
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 ハイバースキャニングと歌行動
3. 学会等名 同志社赤ちゃんセンター講演会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 意識を生みだすワーキングメモリ
3. 学会等名 日本心理学会国際賞受賞講演
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 笑いと社会脳
3. 学会等名 ニューロクリアティブ研究会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 京都大学文学部心理学古典機器博物館への招待
3. 学会等名 関西心理学会シンポジウム講演
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪直行
2. 発表標題 社会脳から見た意識の仕組み
3. 学会等名 日本基礎心理学会特別講演
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 芋阪満里子
2. 発表標題 ワーキングメモリとその脳内機構
3. 学会等名 第21回中部老年期認知症研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Osaka, N. Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., Osaka, M.
2. 発表標題 Zen meditator overcomes the Stroop interference: An fMRI study of access consciousness.
3. 学会等名 Psychonomic Society (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Fukuyama, H.
2. 発表標題 Keynote: Optical imaging and cerebral blood flow
3. 学会等名 Taiwan Society Of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計13件

1. 著者名 芋阪 直行、越野 英哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 240
3. 書名 社会脳ネットワーク入門	

1. 著者名 源健宏・苧阪満里子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 380
3. 書名 言語性ワーキングメモリと脳（生理心理学と精神生理学 第III巻 展開，堀 忠雄、尾崎 久記、室橋 春光、苧阪 満里子（編））	

1. 著者名 越野英哉・苧阪満里子・苧阪直行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 380
3. 書名 堀忠雄，尾崎久記（監修），室橋春光，苧阪満里子（編集） 生理心理学と精神生理学 第III巻 展開	

1. 著者名 K. Mochizuki and S. Funahashi	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer, New York	5. 総ページ数 16
3. 書名 "Response inhibition" In Neurophenotypes: advancing psychiatry and neuropsychology in the "OMICS" era. V. Jagaroo and S.L. Santangelo (eds.)	

1. 著者名 苧阪直行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ワールドプランニング	5. 総ページ数 234
3. 書名 松田 修（著）最新老年心理学	

1. 著者名 芋阪直行編著	4. 発行年 2015年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 384
3. 書名 ロボットと共生する社会脳 神経社会ロボット学 (社会脳シリーズ第9巻)	

1. 著者名 芋阪直行編著	4. 発行年 2015年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 408
3. 書名 成長し衰退する脳 神経発達学と神経加齢学 (社会脳シリーズ第8巻)	

1. 著者名 芋阪直行共著	4. 発行年 2015年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 248
3. 書名 音と時間 (音響サイエンスシリーズ13)	

1. 著者名 Osaka, M.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 275
3. 書名 Cognitive Neuroscience Robotics B: Analytic Approaches to Human Understanding	

1. 著者名 Yaoi, K., Osaka, M., Osaka, N. (chapter 10)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 276
3. 書名 The prefrontal cortex as an executive, emotional, and social brain	

1. 著者名 芋阪直行編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本学術協力財団	5. 総ページ数 203
3. 書名 社会脳から心を探る	

1. 著者名 Osaka, N.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 257
3. 書名 Brain, beauty and art: Essays bringing neuroaesthetics in focus	

1. 著者名 芋阪直行	4. 発行年 2018年
2. 出版社 朝日出版	5. 総ページ数 244
3. 書名 エンタテインメントの科学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

芦阪研究室
<https://ha2.seikyoku.ne.jp/home/Naoyuki.Osaka/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	蘆田 宏 (Ashida Hiroshi) (20293847)	京都大学・文学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	村井 俊哉 (Murai Toshiya) (30335286)	京都大学・医学研究科・教授 (14301)	
研究分担者	芦阪 満里子 (Osaka Mariko) (70144300)	国立研究開発法人情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター脳情報工学研究室・主任研究員 (82636)	
研究分担者	坪見 博之 (Tsubomi Hiyoyuki) (70447986)	富山大学・人文学部・准教授 (13201)	
研究分担者	船橋 新太郎 (Funahashi Shintaro) (00145830)	京都大学・こころの未来研究センター・名誉教授 (14301)	削除：2018年7月4日

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	福山 秀直 (Fukuyama Hidenao) (90181297)	京都大学・充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リー ダー育成リーディング大学院・特任教授 (14301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関